

# ECMO 中のプラズマリーク発生時の注意点と対応について

日本 COVID-19 対策 ECMOnet

日本集中治療医学会

日本救急医学会

日本呼吸療法医学会

ECMO 中に人工肺の膜が劣化し、血液中の血漿成分が漏れて人工肺の排気口から黄色の泡沫上の液体となって漏出することがあります（プラズマリーク）。その際、血漿中の新型コロナウイルスが人工膜を通過し排気口からエアロゾルとして拡散する可能性が懸念されています。

現在のところ直接的な証拠はひとつもなく、また過去に ECMO の管理をしている医療者が、ウィルスに感染した報告もありません。しかし、理論上はウィルス拡散の可能性が指摘されています。

そのため、呼吸 ECMO 管理においては以下のことに注意してください。

- 1) 膜型人工肺の劣化を疑う場合は速やかに、ビニール袋等で人工肺排気口を含めて全体を覆う（エアロゾルによるウィルス拡散予防）
- 2) プラズマリークが発生する前に回路交換を行うことを検討
- 3) ECMO 装着時は N95 マスクをはじめとした PPE 装着を徹底する

参照資料：

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する ECMO 管理中の感染管理について（4/10 UP）. 一般社団法人日本体外循環技術医学会 学術委員会 補助循環部会.

<https://jasect.org/2071>